

人権委員会だより

2020. 12. 18 発行

令和2年度文化祭 「北条きら里ショップ」の体験を通して

人権委員会は、11月6日に行われた文化祭で、「北条きら里ショップ」を開きました。今年は残念ながら、新型コロナウイルス感染予防のために、制限のある活動でしたが、人権委員は3年次生も参加して、有志12人（マーケティング受講生）、商業研究部員2人と一緒に学びながら協力して活動し、お客さんに買い物を楽しんでいただきました。

今年は、大人気のお菓子の販売は残念ながら中止となったので、販売商品は、「NPO法人SORA きらりのウッディ」、「社会福祉法人 馴鹿(となかい)」から仕入れた雑貨だけとなりました。販売商品には制限がありましたが、お店の名前は今までどおりの「北条きら里ショップ」。今年初めてお世話になった馴鹿(となかい)からは、12種類の木製コースターを仕入れさせていただきました。

ショップでは人権委員会の活動紹介、ハートフルデーの資料掲示、全校生徒の「軌跡(きせき)～輝く未来のために～」のファイル展示も行い、販売時間は70分。お客様に、ゆっくり買い物を楽しんで展示を見ていただくには少し短い時間でしたが、販売活動は充実した楽しい時間となりました。



《前日準備終了後、ちょっとだけマスクをはずして、明日は頑張ろう!》

1 福祉施設について学び、感じたこと!

今年は、事前に各施設を訪問して、働いている皆さんから直接話を聞くことができないので、人権委員みんなで昨年の資料を見ながら、福祉施設がどこにあり、どのように商品が作られているか調べ、どのような思いが込められているかを学びました。

【感想】

- ・毎年、いろいろな施設の方が協力してくださっていることが分かりました。商品がとても丁寧に作られていることも分かったので、売るときに気持ちを込めて売りたいと思いました。
- ・福祉施設の皆さんは、地域との交流を大切にしていることが分かりました。
- ・馴鹿のホームページから、その名前の由来は、「ハンディを持った人に、サンタクロース的な役割を果たしたい」という思いからつけたこと、障がいのある人たちが安心して働ける、明るく楽しい職場だということを知り、あったかい気持ちになりました。
- ・今回販売する商品は、障がいのある人が作っている商品だと聞いてびっくりしました。どの商品も完成度が高く、コースターの切り込みはとても丁寧できれいな形をしていて、角を丸く加工しているので手触りもよい商品でした。障がいがあるからといって、劣っているなんて絶対ないと改めて感じました。



《 販売商品紹介 》

「きらりのウッティ」より

マグネット(大)・・・ティラノサウルス・トリケラトプス・フテラノドンなどの恐竜

” (中)・・・インコ・ネコ・ヤギなどの動物

” (小)・・・みきゃん・ダークみきゃん・クマ・ウサギ・ネコ・イヌ・かえる・フタなど

ストラップ・・・・・・・・イヌ・ウサギ・クマ・ネコなど

「馴鹿(となかひ)」より

木製コースター (12種・・・イチゴ・イヌ・ウサギ・クジラ・クマ・サル・ソウ・ニワトリ
ネコ・ハリネズミ・リンゴ・コーヒーカップ)

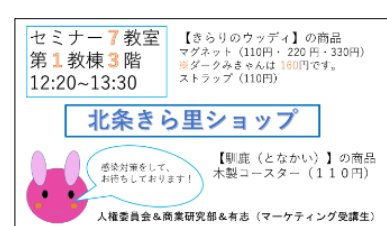
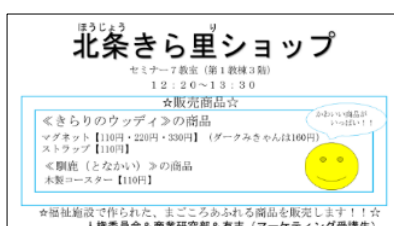
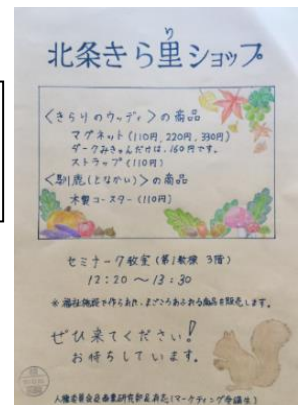
《馴鹿(となかひ)で、木製コースターの角を丸くする作業の様子》
丁寧に根気のいる作業です。これはハリネズミを作っています。



2 広告(ポスター・チラシ)を作成して感じたこと!

人権委員は、全員手書きで作成して校内に掲示しました。当日販売活動をしていないマーケティング受講生は、パソコンで作成して、その中から優秀作品を校内に掲示しました。

- ・ポスターは文字を太くすることを意識しましたが、私は色を塗ってなかったので、色を塗ると、もっときれいに見えることに、後で気付きました。
- ・私は今まで、生活の中でたくさんのチラシを見てきたので、チラシくらい簡単にできるだろうと思っていました。でも、いざ作るとなると、文字の配置や色をどのようにすれば、伝えたいことが一番目に入るか、どんなコメントを書けば興味を持ってもらえるか、全てが難しく感じました。いつも何も考えずに見ていたチラシが、どれだけすごいものなのかが分かりました。これからは、チラシの工夫点を探してみたいと思いました。
- ・パソコンを使つてのチラシ作りは難しかったです。友達が同じ時間で作ったチラシを見て、すごいと思いました。難しかったけど、パソコンの細かい操作を覚えられたので得した気がしました。
- ・今回私は、北条きら里ショップのチラシ作りをしました。たいした工夫もできておらず、商品の説明もないままという微妙なチラシになってしまいました。背景もうまく合うものが作れませんでした。全体を通して時間を有効に使っていなかったと反省しました。次はいいものを作りたいです。
- ・私は、「見やすくわかりやすい」をモットーに作りました。完成してみるとシンプルで味気ないような作品になりましたが、分かりやすかったとは思いますが。飾られていて嬉しかったです。



3 文化祭の準備・販売活動の練習をして感じたこと！

- ・私は、初めて接客やお店の飾り付けを体験しました。いかにお客さんに楽しんでもらうかを考えて工夫することは楽しかったです。
- ・私は、事前準備しか参加できませんでしたが、たくさんのお客さんが楽しめるように、商品の配置をいろいろ考えました。人権委員と有志で協力して作り上げた文化祭では、みんなのフォローがあってこそできることなので、感謝しています。人権委員としてこれからもいろいろな体験をして良かったと思える活動をして頑張りたいです。
- ・机の並べ方を工夫するだけで、お客さんが商品を見やすくなり、手に取りやすくなるのが分かりました。相手の立場になって、見たり考えたりすることは、ステキなことだと思いました。
- ・コロナ禍の中での初めての文化祭は、制限はありましたが無事に行うことができ嬉しかったです。私は、部活動との兼ね合いで時間をうまく使えなかったのが、来年は工夫して効率よく活動したいです。どうすれば文化祭が盛り上がるかを考えたことは、楽しかったです。来年はコロナが収まって例年通りの文化祭を行いたいです。



4 文化祭「北条きら里ショップ」を体験して感じたこと！

有志とともに、役割分担と担当時間を決めて、協力して活動しました。

- ・今年は、シフォンケーキといった人気商品の販売ができなかったけれど、ストラップやコースターを買ってくれる姿を見て、参加してよかったと思いました。
- ・あまり時間がなかったのですが、準備はしっかりできました。初めて人権委員としての仕事が来たなどと思ったら、忙しくてびっくりしましたが、一生懸命頑張りました。
- ・商品の良さを分かってもらえるように接客することができました。友人に感想を聞いてみたら、「和やかで暖かなムードがあってとても良かった」と言ってくれて嬉しかったです。仕事のやりがいを感じることができました。
- ・最初はお客さんにどう話しかければいいかわからず、ほとんど棒立ち状態でした。でも、だんだん慣れてくると、自分からお客さんに話しかけられるようになりました。先生のアドバイスを生かし、先輩の様子から学ぶことができたからです。そうしていると、自分が勧めた商品が売れて、とても嬉しかったです。この体験を通して、商売は本当に大変だと実感することができました。
- ・自分が店員の立場になると、お客様のおかげで商品が売れるということがわかり、お客様が来てくれることのありがたみが分かりました。「かわいい」と言ってくれれば、こっちまで笑顔になれるという場面が何度もありました。「いらっしやいませ」の声掛けもとてもいい思い出になりました。



5 有志（マーケティング受講生）の感想

マーケティングの授業では、販売活動の基本であるお金の扱い方、販売員としての気遣いや言葉遣いをどのようにすればいいか、接客をする際に気を配るべきことを学び、文化祭で実践できるように準備をしました。そして、当日は緊張感あふれる貴重な体験の時間となりました。

・初めての店員体験は、とても緊張しました。計算練習をし、商品の値段も覚えましたが、ど忘れしてしまいドキドキした40分でした。友人が先生からのアドバイスを教えてくれて、ちょっとした気遣いが大切なのだと実感しました。挨拶や表情一つで、お客さんがいい気持ちになったり、いやな気持ちになったりするの、販売員の仕事は本当に大変だと、身をもって知ることができました。人権委員さんが、何をかうか迷っているお客さんに「即座の対応」をしていて感心しました。今回の販売体験は、学ぶことが多い時間でした。

・私にとって、「北条きら里ショップ」の体験は、礼儀についてもう一度考えるきっかけになりました。どんな相手にも失礼の無い態度を取ることは難しかったですが、自分なりに頑張りました。

・販売活動を通して、笑顔で接客することの大切さを学びました。明るく振る舞うことで、お客さんの気持ちが変わり、お店に来てくれます。目を見て話すといいこと、お客さんの気持ちを素早く察知して言動に生かすことは、難しいことだと思いました。

・店員として、ハキハキ話すことは難しく、お客さんの目を見て話すこともうまくできなかったけれど、やる気は出せたと思いました。販売体験は楽しいと感じました。

・お客さんに時間をとらせない接客の難しさ、伝えることははっきりとハキハキと話すことの大変さを、短い時間の中で体感しました。今日の経験を生かし、これからは相手の気持ちに気付いたり、人前でも相手にしっかり伝わるように話したいと思いました。

・お客さんを店に招き入れることは、普段される側なので新鮮な気分でした。戸惑ったり、不十分な時があったかもしれませんが、それも含めて体験できて良かったです。他の人の接客を見てみると、「すごい」と思える人が何人かいました。自分も頑張りたいと思いました。これからはしっかり学んでいきたいと思いました。

・今回は短い時間の体験でしたが、このような時間をとってもらえたことに感謝し、これから就職に向けて力を付けるための大切な学びを、一つでも多く頭に入れたいと思いました。練習したことを思い出しながら活動しました。

・最初は不安でいっぱいでしたが、私のレジにお客さんがたくさん来てくださり、だんだん慣れていくと時間が経つのが早かったです。接客は楽しく、お客さんにもしっかり声を届けて、買ってもらうことの嬉しさを感じることができました。

・初めての販売活動のために、授業で練習をしました。クラスメイトとの練習は、恥ずかしかったり、もたもたしてしまったり、思うようにできませんでしたが、何度も練習してなんとかマシにできるようになり、本番となりました。当日は、コロナ対策の消毒係として、しっかり活動できました。今日の貴重な体験を必ず生かしたいと思いました。

・私は消毒係をしました。実際のお店でも消毒をしているのを見たことがあるので、限りなく実際のお店の雰囲気に近い体験ができたと思います。同級生の接客態度を見て、お客さんへの対応の仕方を学ぶことができました。店員側に立ち、その苦勞を学ぶことができ、楽しかったです。

・準備から片付けまで、しっかりやらせていただきました。この体験から、自分がいかに未熟かを知れた気がします。自ら直していかなければならないことを改善し、いい力を付けたいです。ありがとうございました。

・今後も、福祉施設のことや作っている商品のことを、多くの人に知っていただけるように活動していきたいです。

・人権委員さんは、テキパキ動いていて、よく働いていました。

